



鐵輪 宮崎精鋼株式会社 名古屋市中川区丸米町一丁目1番地 ☎052-361-2191 平成25年12月号

創業75周年記念 創立記念式典開催

11月30日(土)、第75回創立記念式典が、昨年と同じく名古屋商工会議所大ホールで開催されました。永年勤続・安全部門・優秀社員・優秀職場・環境改善優良職場表彰が行われた後、創業75周年を記念し、労働組合のご協力により制作いただいたDVDの投影が行われました。



永年勤続表彰の様子

DVDでは、創業から現在に至るまでの宮崎精鋼のあゆみが数々の写真で紹介され、台風被害により工場外壁が崩落している知多工場の写真には、会場からどよめきが上がっていました。数々の困難を乗り越え、現在の宮崎精鋼があることを、従業員の皆様それぞれが感じになったのではないのでしょうか。



DVD投影の様子

DVD投影後、元カムカー社購買担当取締役で、現ジャイカムノースアメリカ社長であるトム・クロム氏から、宮崎社長へ宛てられたメッセージが読み上げられました。クロム氏は、宮崎精鋼の線材の品質の高さを改めて称賛するとともに、宮崎精鋼、従業員、家族に対して祝意を示されていました。

その後の挨拶で社長は、DVDへの謝意を述べられ、宮崎精鋼発展の礎となったマルメディー社伸線機について語られるとともに、創業75周年にちなみ、以下のように述べられました。

「京都の会社は3社に1社が100年以上存続しており、それらの長寿企業から次の五つの経営理念が共通してあることがわかりました。

- ①信用、②品質、③人材、④そこそこ、⑤不易流行です。
- ①～③は当然どの企業でも共通する大切な要素です。

しかし④の『そこそこ』や、⑤の『不易流行』は長い歴史を持つ京都ならではの理念で、高品質、高い技術や技能を持つ職人を必要とし、利益や規模の拡大より顧客の信用を優先させた結果です。



社長挨拶の様子

そしてもう一つ追加をすれば家庭教育です。それを担保するのが『職住一致』又は『職住接近』で親や職人のいる現場で育ち、又、祖父・祖母の語る話が自然と後継の養成教育になっているのです。しかしこれらは京都特有のものかもしれません。今我々の考える必要があるのは①『創業者の視点』②『顧客の視点』

